

救済へ再審法改正の実現を

国民救済会大分県本部から、再審法改正の意見書の提出を求める請願が日田市議会に提出され、採決の結果賛成少数で否決となりました。大谷市議は、請願の趣旨に賛成の討論をしました。

身に覚えのない罪で 刑罰を受け、時には死刑判決で命まで奪われるえん罪事件は、あつてはならないと誰もが認めることですが後を絶ちません。間違つた裁判をやり直す再審制度が整備されていないからです。国入意見書提出の請願は①再審のため検察がもつすべての証拠を開示すること②再審開始決定に検察の不服申し立てを禁止すること③再審の法制度を整備することを求めています。いま、袴田事件を教訓に再審法の改正を

えん罪で苦しむ人を生まない社会に

復旧が急がれる三郎丸橋



国道386号、星隈公園横の花月川に掛かる三郎丸橋が被災しました。2個の橋脚のうち、1個の橋脚の基礎が河床の洗堀で下がったためです。復旧工事に向けて、大方のスケジュール（一部加工）が示されましたので掲載します。橋に架かる上水道や下水道の管は下流に仮設の予定です。市は国土交通省九州整備局や県に早急な復旧を要望しています。

求める運動が全国に広がり、市民団体や全国弁護士連合会も全会一致で決議。地方議会では、7道府県266議会で意見書が決議されました。今年3月11日は超党派国会議員連盟が結成され、自民党麻生太郎氏、立憲の泉健太氏、公明党の山口那津男氏、日本共産党の志位和夫氏などを始め、11人が参加しています。

直すことになれば法的安定性が損なわれる」ですが、大谷市議は、請願に賛成する立場から反論。「有罪が無罪かは再審請求ではなく、その後の再審公判で判断され、検察も公判で主張できることだから検察の不服申し立てを認める必要がない」と。また「法的安定性を理由に、えん罪被害者の訴えを門前払いにすれば、えん罪はなくならない」と述べました。「現在の法は大正時代の法規定をそのまま引き継いでおり、現行法の施行から75年にわたり改正が行なわれていない」と日本弁護士連合会は指摘し早期の改正を求めています。

議員名	賛否
大谷敏彰	○
日隈知重	○
溝口千壽	○
井上正一郎	○
梶原信幸	○
中島章二	○
今井美保	○
高倉貴子	○
岩見泉哉	×
財津幹雄	×
梅原竜也	×
原田裕文	×
宮崎陽治	×
中原晴剛	×
崎尾亮介	×
三苦 誠	
石橋邦彦	×
坂本盛男	×
居川太城	×
佐藤孝彰	×
松野勝美	×
坂本 茂	×

(注)左表で○は賛成、×は反対、|は三苦議長で採決に不参加。

事業内容	2024年度							2025年度
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1~3月	
測量設計	測量調査	■			災害査定			
	詳細設計		■				■	■
橋梁工事	本復旧						■	
	橋脚補強	■						
	旧橋撤去				■			
他事業	上下水道移設	■						
	電線等移設	■						